

地域に根ざした心かよう学校づくり

9月15日に委員会が開催され「教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱」策定について説明を受けた。

趣旨と内容

法律改正の趣旨を受け、本町の実情に応じた施策の基本的な方針を定め、推進する展開方向を示すもの。その後の社会情勢の変化に対応する新たな視点（いのちの継承等）を盛り込んで策定している。

質疑

**コミュニティ
スクールの導入は**

委員 全国でコミュニティスクール動きもあるが本町の考えは。
当局 当町では評議員会制度が成果に結びついていいると思う。どのような方法が望ましいか検討していきたい。

学校間の連携を

委員 保育園と小学校など縦の連携と合わせて、小学校間の授業や行事の交流で連携し、統合せず白鷹独自の教育の検討ができないか。
当局 急ぎ過ぎず地域や保護者と話し合いをして進めていきたい。複式学級になった際に統合の検討を進めるということ、即統合ということではない。首長と教育委員会が十分に話し合い取り組んでいく。

実績報告

一般財団法人白鷹町アルカディア財団の、平成24年から26年までの、経営改善計画の実績について説明を受けた。

パレス松風の経営状況は



積極営業で盛り上げ

一般財団法人移行時に町から支援事業補助金2000万円の交付や指定管理料の見直し等の支援を受け、経営の安定化に努めてきたが、2年連続の豪雨被害の影響で26年度1517万円の赤字となり、厳しい経営状況が続いている。

質疑

改善に向け自助努力は

委員 一般企業と同じ感覚で自助努力する必要があると思うが。

その他

○西置賜地区視聴覚教育協議会の廃止

○白鷹町スポーツセンター構想の推進

○ヤナ場の状況について説明があった。

今後に向けて

財団としては、能力を超えた課題も多く、今後も町の支援が必要と考えている。より一層各団体と連携を強化し、経営を継続して行く。

今後、株式会社化の検討をしているところでもある。



手、切んなよ